

東条海岸の越波対策（案）

近年の越波災害

東条海岸では、近年、台風時の異常潮位と高波浪により越波災害が頻発しています。平成9年の台風時には、鴨川シーワールドホテルから鴨川ロイヤルホテルの区間において、背後民間施設への越波・越流による浸水被害（写真-1） 護岸被覆ブロックの飛散や砂の吸出しによる管理用通路の陥没（写真-2）等の被災を受けました。また、平成14年の台風時には、鴨川グランドホテルから鴨川シーワールドホテルの区間では、堤体の沈下や被覆ブロックの飛散、管理用通路の陥没等（写真-3、4）が発生したほか、鴨川ロイヤルホテルにおいては施設内への越波水塊の飛込みにより大規模な浸水被害を受けています。



写真-1 背後民間施設への浸水状況(平成9年撮影)



写真-2 護岸および管理用通路の被災状況(平成9年撮影)



写真-3 管理用通路の陥没(平成14年撮影)



写真-4 護岸被覆ブロックの飛散状況(平成14年撮影)

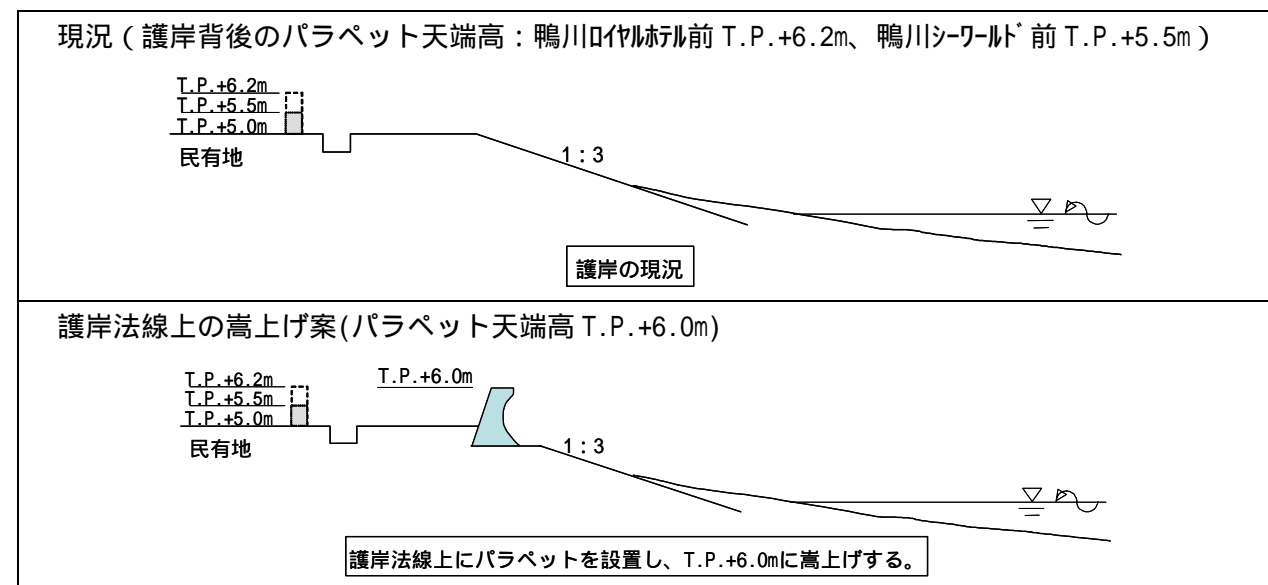


写真-5 鴨川シーワールド地先(平成14年撮影)

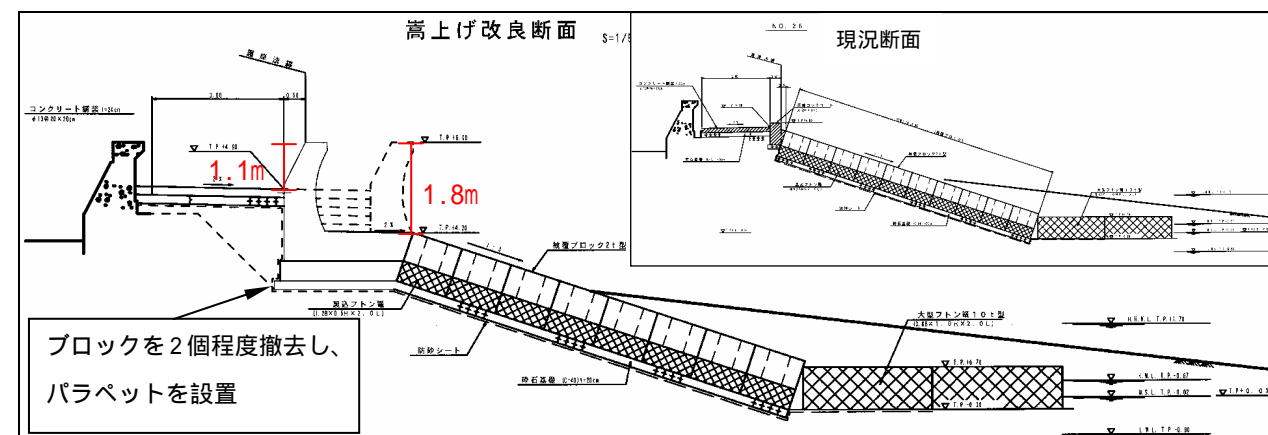


写真-6 鴨川ロイヤルホテル地先(平成15年撮影)

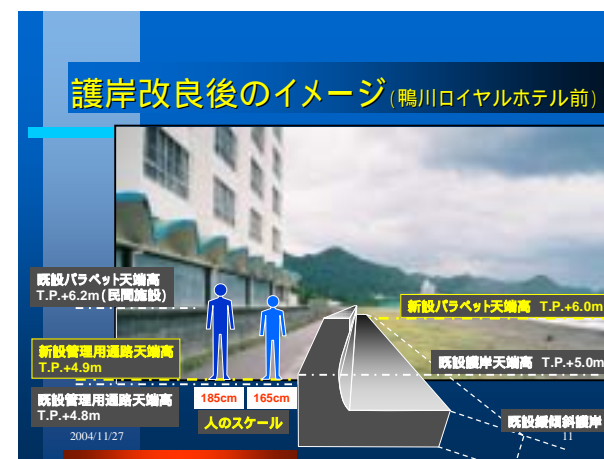
越波対策案



改良前後の護岸の標準断面図



護岸改良後のイメージ



海岸利用への配慮

- 100m～200m 毎に海浜にアクセスできる階段工を設置。
- 設置天端（歩道部分）と高上げ工の高低差を1.1m程度にし、景観の確保と海側への転落防止を図る。